本社持電』今曉保定最後の つゝある 中である、 中である、わが將兵の夢にも忘れなかつ擧に入つたわが部隊は遂に城内の一部を

宋哲二匹監禁說

【旅順】。十四日间盟】 旅順等群部

またも元州を空襲

て、州を城壁一批目標送出水面設

一個大なる

十九日以来職海線の沿線に

競祭版は二十三日更にOO機を以外数を陥行しているりし〇〇個形成 完爆を取行しつ いあり 越人公肺関の築いた古都で、農

泛劇を理立てた沙面といい地域

る。英師隣隣の居留地は珠面の を反映してあるやうで興味があ

の歴史について素描せた

銀司令部等に保障

様めてゐる。かうした新作兩市

街の観線は現代支那思想の流れ 隅のない街がつせき終日誰片を 變 辭

一十九軍の敗戦

蔣に面罵さ

色質を言まって即、南京政府の御用後間中

地語とコードコロル通話において「実許是は指

日間景に帰ってある」と報道してある

は歩砲協力の下に敵の猛撃をくぐり保定城内の一角部二十四日年前十一時三十分發表―午前九時四十五分

(北平

敵は浮足立つて敗走 激出

屋高く日章旗を掲げた、敵は之に對し機闘銃の猛射を浴む **城堡より外聖する敵を強減すべく。直ちに加چした低所より機關銃を擔ぎ上げ幅五米の城壁上に据えつけて猛烈な【北平二十四日同盟】午前九時四十五分我軍は城壁の。突角としよぢ上り日章旗を城壁上に打ち立てると共に東西兩** 方から今に夾城内の敵を攻撃中であつた我部隊は砲兵協力 【天津二十四日同盟至急報】午前十時半天津軍司令 目下城壁上にて激戦中であるが敵は城壁の一角崩壊に 下に敵軍必死の銃火をくぐり、保定城の一角に突入城

早くも浮足立ち敗走の色濃くなり始めた。

定城の北筊角に向つて敵迫撃砲、機闘銃猛射の眞只中を驀進、幅二十米の屋下の外濠を渡り 高さ十五米の城屋を【北平二十四日發同盟】二十三日午前九時四十五分岡本部隊の 先頭部隊は我が 砲彈を敷十發受けて 崩れ落ちた保火蓋を切り銃身も焼けよどばかり猛射に猛射を續けてゐる

わが保定包園陣形成る

つみを除すのみとなり、おが資本南方面よりの鉄・線に関したの財産となった敵は変死の財産に奔の食れに迫撃に黒、森田各部隊の平漢線の完全遮断と相俟って我軍の保定包別陣は今や僅かに入り、()の南部には城壁北側敵の竪壘に迫り東方は満城を迂回して南大苑に進垣私生工工員員間24年線を選下せる民が降冬、長年川、安田の各部隊に、二十二日午後五韓建に帰居の間の際家を 、風となった敵は必死の勝職に務め我れに迫無網。

日午後二時から夕到に至るまで浦 | せ敵に英大の孤密を懸へた会議〇隊は駄雨盛りしきる二十三 | て浦東の敵陣地に翩鄲の雨を碌ら 浦東の敵陣地に大爆撃 でわが江上臨隊は空事と毎呼隠し 方面の散励に對し我が軍は二十二 日午後五時以來攻壓中なり(一) 報に中へ選び:(C) : 12個小型に関 れに大様常を興へた、我が飛行機 が帰溯の成力物接く威陣を樹飾こ

関して微線な膨脹を加へ張つたの「特」の『電話会部二十三日午後入れに對し敵もさるもの紅日方面に【北 平二十三日 **發本社** 【天津二十三 日發本社 特電」天山田前台部廿三日午後 田、助川南部隊は西劉各中、

四名の支那兵

地語集部隊に大爆撃を行つた、こ 東の上空を燃々旋回して敵略兵師

津浦戰線戰況

我が軍は午後六時三十分東花園の

間に数十歳の配別を受けたが機組

敵師地を突破し敵を南方に追撃中

突如、投降し來る

語る範疇地に流烈な爆撃を加く地 〇機〇数は二十三日和州の民間を ◎敵に對し午後四時交戦中である(大城戦西南方四里)の線に確張 OC世三甘同国] 中宮暗線のO

れに對し原因な抵抗を戦みたが我

【上海二十四日同盟】南京政府は一郎々の株法を制定し國民窓座の南

| 歴作能は大抵戦を襲ってをりその | が、食料 缺乏 から腹窓 | すればこの冬を前にし | である米質者の最前庭前のため | 群はなが散鋭に大車となつである | してをりこのまま推移 | ない形勢になつてるこのである米質者の最前庭前のため | 群はなが散鋭に大車となつである | してをりこのまま推移 | ない形勢になつてるこのである米質者の最近いよく | 増大 | 大食料暴動勃發は免してあるが能は大抵戦を襲ってをりその | が、食料 缺乏 から腹窓 | すればこの冬を前にし

雨で農作大被害 食糧暴動不可避か

楊行鎭の敵を

猛烈に集中射景を行つてゐる 更に夕刻に至つて剛長部隊は一管 同陣地包涵の臘勢を取りつつあり (、この権力下に我が歩兵部除は 【楊行風、十二同圖】 我が興生部 範別面の敵國英雄地下費し二十 包圍砲擊

こが飛出石から職荒県港のため南京に揺動き、東洋洋の所任については風々取沙水されてお れたまく敗職の後でより監修されたとの親告

に何無をいにセす監禁したといはれてゐる 会施度に出たがお祝石は子供だまし的左應度と事質無視の心解をなー単怯にも原軍を漸ふ

【天津二十二日間盟】 平演観楽録指師の総師

堡里潰 歩工合作の攻略戰見事奏功 ゆ(羅店鎮

五十一、第五十九兩師の根據地は二十三日投が空陸相呼應する猛攻壕により途に崩壊する地闘別始以來約一ケ月に亘つて我が方の砲壕並に空軍の爆撃にも頑強に抵抗してゐる敵第(羅門湖中日間門羅殿灣月の小幹部隊正直座縣 コンクリートをはて 1 町四方の関数を固めれかにかせられための羅店鎮の 京学校を開始しこの概念等で概へた山内OO機は天地を指がせんほかりの大機能を取行してさすかの単統も複数部形式一般にして近地でして、

のも同体地交衝は我が○○戦の構成に始まり我が棒は果成四十米の低高度をとり転離広盟数を取行すれば敵は窓心に 爆動作業に完全に助を察した。この縁小野部隊は年後四哥舒康麾守べからずと言かり北魏な突然に応り小野常隊長自ら軍力を護 **語除と協力して劉玄徽を働き目の鬼の腕を教祭請き職頭に譲へした、かくて步士合作の攻惑職は戦捷の一貫を難したのである**

廣東 南昌空襲 きのふ

副の飛行機数十歳は夜壁を利用。卒襲し白雲飛行塔、天河飛行塔、 わが海軍機の戦果 歌を聴へたり、なほこれに引取さ 軍官學校を頻繁、これに多大の個

参数の頭痕を受けたものあるも搭紙性り、なほ更が方には機能に

「塚飛行場徐水驛の軍用」

武行 南京臺灣本州口京

金額に換算して一根ルーブルのも。共産化の途を辿るとは騰騰である

図を電影をはじめた機で前帯版 図と電影をはじめた機で前帯版 図 際、欧米式の大阪高橋が確なな 一萬 (一九三五年間定)で世界 十六、七位に位する大都像

人口は百四 帯東が二株社下編 方波に政府の所で 政府が武昌に移さ

はたらの開

として有名である。蔣中系の立した張雄軍富型校の所在地。 立した張雄軍富型校の所在地。 百がわが陸軍の式に協つて社 所に賈蓮がありこへには紹介 は県鐵塘が省

わが連日空襲下の廣東

及び原則なら庭原庫地を行する。て確然に反應せる。 連雲港外から砲 世が万に振い

を出せてい金額を職職した蘇二を心とすつ敵争用列車に演繹に耐火 いて孫家山昭近より西方に移動せ | 「東北西日同間 () () 新四所器 | の発躍器内 「七二日年後半年諸外にお「方庫地より郵標販売をもつて家庭」四月回聞」の「益院所書」の茶稿期刊りまじした」と楽田西 た。我に振振なし したが我方はこれらを反撃せしめ

平地泉西南を占 钡 内口接腦角及

地にありいが、味方爾兵隊の動師。下場としきは敵強か、鬼婦人といる不利な様にクラしとし で開始した。戴爾CSEは「漢文職」であり(こ)時「王」日代から)で関して角山に向って正統「投資」おいて政策を受し単純な最後を推 パの下力は17千三日平列下上。方の一慶よ三十二年に行りと考えりの地跡五蔵木を確保した王。び年昭列前で多変優後せり、我が 方の一機は一十二 東行属を提展 州の上来に

大城一帶空爆

經] 十二日午後 地方課言 今本 なで 再年中京部隊

西門,今次事 小安 地大厅 H

◆最上政三氏(衆議院議員)北支本町来訪 ◆最上政三氏(衆議院議員)北支 任択途のため間保軽運用課 (受容局衛生職(受容局衛生職 あため二十二階に指揮し

版は大俣郡を建し橋内景造物を船 を爆撃。東十郡の命中頭により南 を場撃。東十郡の命中頭により南 |脱型を止めぬまでに砂砾したり||◆柴山菜氏(京城谷 一回の空襲において我が〇〇歳 ◆富山俊氏(新 展顕機四機と交戦之の二機を ◆山本築氏(農林局林政県勤務本 研技師) 同上 三日間大邱局電内観帯図局無務課長)二 · 营林 考技兼農林

午接三時五十分京城院和報 野理 局事務 **雙行**

A 危地で咲く大和猫 〈感激美品集 全に大村間右衛門・砂路 会職女たちの心・機関の 帆 船・橋町の 帆 船・橋町の 帆 船・橋町 の 県 路 乗 下の讀物は 傑作小説 一丁篇 | | 東京の人気男*|| | 東京の人気男*|| 小説山と満載 見逃しては御損お早くの場所に大荒行

の難し、次い、大野 所が能

して、その最高のメンハーを揃え、一方並に歌者は半島楽壇を總動員の特別は一ケストーの映画は、一大大学を指揮者及び出演オーケストーの映画に、一般で歌會員派作の珠玉篇、珠に 作曲も自ら湧き出た赤誠あふれたの如く愛國歌歌大郎を開きます、作詩も さに打たれて、やむにやまれの関心を機能させ る制作欲にたぎつて生れ出た朝 正に朝鮮空前の大音楽會であ

五日夕到殷藝前に離双の際定) 熱源に影切って懸めで出演動像中です。出世者及び番組は、十

者とた同じ思いで心魂を傾けてを仕てしるので がせない人音楽館であります。 いて問題する皇軍の他動を押いた

九月卅日午後七時京城府民舘木

めてゐるが事態が続以來可以の時思情扶係都扶除面途格動比は百濟

百圓を献金

局部開催底に努めてみたところサ

二日防空野材製として百回を軍愛

関節へ送つて来た

関中を深人が離脱手雷の結果生 は助りる見込み、順気は生活産が ○定四代にかは計画問題を吞み ▲ 一十二日午前十時年至子町一

の自然的北支統路開設に刺戦され一動を行びついある、な任頭動の北

一、笹山を特略とする天徳航路の期 積んで本月以来往復してゐるが年

一支航路は簡響丸が小姿砂、木炭を

拿捕された漁船

ので、関連に関立し一統確的状態である

が聞を開始することゝなつたが一

駐在所に献金箱

密陽署から愛國部

となって現れてゐるが、朝鮮難解しむべく、大阪商船に對しても謝

場振興は緊急事とされ各種の運動

北支の情勢に鑑み朝鮮の對北支機 | 一方これと同様の感冒に於て大阪 | 遊行の『炭米を彫刻す』といふイ|

商工會議所 が新運動

商船の天津航路釜山台港を置現せ

初航路を開

を音へが関中を家人が問題、摩 ラエンを林し変(か)はリン ▲ : 十四日午前四時荷運町 ::

HILL マヨネーズ





め、同様手段で留学宅だけを訪わ

ンチャな本を押し買りしたのを始一大門署で優採中 て押- 買りし廻る男があるので西

個院で平常を加へたが聞るなく

常日前が及び達成丸の二郎は廿四、朝代合せて助してなの都をに遠して非治されポセットに抑留中の謝。クトに抑留中の我が加脂は否証、て遠南第四1 左ろ八月蘇戦奪前州。附の難した俄提によれば日下ポセース東京

総敷で七十隻に達す

関中を家人が誘駆、平器中であ ▲ 一一日午後九時東宗町 学販売、↓ はカルモチンを懸下

列車飛降り男 度は精神病者

ろ、帰還な行機脚を買ったのみ) 飛び出した男があったので周里殿 行中、領別の窓から身を置らし 行列市が京義線西浦、開早間を進 に異状を配してゐるとが射明 小包が殖えた 登場 一日午後一時年ころ後山龍奉 再に解放が急行副性したと リとしてゐたが右は平層平

於て一期を何れも指揮してゐるると用愛に於て五分五厘、配達 ける小包頭便物の引受器製は、 便局で取扱った形正一ヶ月間に こを前年同期の取扱い数に

朝鮮野絲曾では廿四日年前九時朝一てある。この邁凱納に際して農家

勇士の胴巻を **蠶糸會の献納祈願式**

|神宮で 直線原卷の 塩缸献納の | の解説は非常なもので像定しり数

はつた時間に関する興趣二の権威

四婦人面毘茲宮以下から賜 | 南総哲夫人の御と言奏意、大野に | 實行申合せを決議して後、

スレー南語音から囲脈音の主旨を | 製作の『銃後の側解』及ひ特に本

南總督も臨席府民館に開

式は廿四日午後一時から所送館で

情に達する 見込みである

乾草奉仕の

佐伯府世界の來質及夏姤本部以大

野政務角監夫人、分會長佐伯府尹一則示があつて、天皇、皇后兩阵下、

大人、金奴爵々長到復榮于夫人以一線成宮殿下の萬蔵を奉唱して二時 野町二千麻 名が出席、式は 先 中ごろ式を終了した、これに引起

林爾共同門翼に続して各関家から別嗣式を 行つた、右嗣籍は 本年

|||一た繭を肌料とし、水原面線

習所で製作したもののもも監切

変献納 老溫寺簡易校

京光館台與那四面老温寺聞品學校

同士、特命修発上本来の目的より | 目で組備が進められてるこ

今年の秋繭で

が、本東各學校に於ける機能は 説的一大側面を加べることとなっ 芸師を壁し取は取役要目を唯止! 芸芸院研究を加へ既に変文の朝

左睫を聞かれ、國民間位

道型を随機化し破夜するとことへ

要校まで各別前生徒に水刺を作

せ、日本武士道少機郎と子心各武

ケに遭つて北山産軍が軍に

思問が川の儒林代表金爾俊、成策。政府の命令で國民に至称的に貴はくり、「メープ」が訪れ聞き居中の夫人に「時間解

儒林代表を 総督が激勵

ランナハ日正午京城県底町

押賣りの男 時局を種に

朝鮮加愛國部、飲納、

けふ愛國婦人會の

u 斯沃取音至当門に亘つて割

「商鮮教育の根本別新に意を注き」を加へ、金鮮初霊學校以上、臨門 このらが、原館患病局長は既任以 | 爺を吹込む上から積燥に一大敗正 銀貨の半島海球を調五大武策中一見て似ずし

いないので、な風田民としての物

が果飾であるとは云

生徒一同五十名は除暇をさいてが、顔ひ買上けて貰つたが、

まつたのでは三日軍慶國部に歓挽後を罷顧に二百八周五十六歳が撃

れたが、七月末から八月世三日三

通本味在所の行九間五十

指を散けて防災器林竹を駆めて

全鮮の各學校に實施

剣體操を課す

に川地方 [今殿] 風景(時間) 「明日] 同じ

迫する○○部隊

皇軍慰問金助成一朝鮮文藝會新作發表

門かのお役に立てゝ頂きたいなが、異心を施めた命ですしてゐるのを見ては歌し様子

院使の半島に火の如く燃え上った渡湖心の勝烈。 ります。これ等の栗塘人は、油瓶運用の車道(窓鎖の 朝鮮なける。空前の大音樂會 と、総後の歌歌に歌舞して出演を存住

上つた錦俊の同国の怨聴や、支那合地の戦感で、聖否派を下衛のこの音樂僧に献ふ歌詞はすべて中近の声楽信仰に続して起じ

諸神經濟 征途退標

力世四日中に闘談する筈である。

命のいらぬ人

サラダ料理を

のお酒落とローマンス フランシスが描く最新 サーガイ・レタンレイング主演レ イ・ミ ラ ン ド主演 ジェームス・ホーガン監督 夜霧の怪流 ラマウント特件

烈川彌太郎。花井陽子。主面

煙五〇銭 久保高盛・J・O・作品東省最低

ぜん息・神經痛や 高血壓円 「潤りをこり いなで治 STERNING

原因から治

भव्यक्ष्यातः । तत्तानस्थः

郷取粉で有名な今津帰博

(内)から治療せより、 のから良くし大に喜ばれてみる。 のから良くし大に喜ばれてみる。 で何こりは辿り もつれに関む人

陸地測量部發行朝鮮總督府測圖

日縁所んで言葉す

五万分一地圖軍隊教科

林雨店圖書部

発所へがからく される思明れば マチーナルを行 用れる人は

各眼科病院處万眼鏡責任調製

原因から治療す

冢庭用諸金物 らいははまっし II. 切に取へらる

京城帝國大學甸用

道限義店

カタログ公司(四川間) 据益本局(2)二三七五奇 京城 府 本 町 二丁 且

田朋家庭諸會的 大阪銅器合資會社

本町四丁目

用家庭諸金物 ルミニユーム

所究研學化理**山兼**鄉本幣一遍 每七八五五三〇五九七七二分本結會每三七五三二、教育報

原大阪五四八番

△眼碑、双眼句

東の

一服之

心氣

基金三機分に達して海軍機を追加

選択にも日本 男別として雄々

今夫になったり行商人になり

尊い汗の献金造成

しき小國民

京楽し 正総と、人切りの家院

厚昌面民の熱誠

線へ送り出す

愛國の翼全北號

突破するに至り明成食常局で

【全州】金州府軍事後援三四二は

勇士の献金

燃ゆる青年

苦しい中から銃後に奉仕し

血染めの日章旗で皇軍激勵

韓田の原語戦争に四萬二千七十九 「威夷」廿二日原在原南台警察署

待てば海路の日和

の登島能で愛國家仕職を組織、総

國旗を寄贈

世話をなず外国芸は戦闘の中から

晴れの日を待つ

十二萬賈、「四當り十貫を軍部」種類観拍することを申し合せ目下宮 | 人▲

旅館に献金箱

銃後に溢る」感激の献金

一、献納式の歌、決定

小學生徒の純情

日章與(雖一尺五寸雄二尺八寸、

拳銃を飲納

の年地を借りて監察實計を利用さ 人姿も十八キロ収載があったので

大漁旗の林

不景氣をけし飛ばす

春秋春紀安議でも無河の 条銃を図っま川 変弱が人間や昌地分間が林 間町率相合氏が一班を駅的し更に 「筋米 省目がて、他会

目書見久米戦方田中プやさんは五

大師飛行場で銀行する夏園機「建節戦争の館をつくり、これを組 北道では今月末八公山 | せて献金和を願へつけ宿泊客の自

中指及び藝指先を切断議る血額で一の銀鐵を築め五種二百六十瓦に遂

城津灣頭に

恢西到了

序若音 魚並町 北町町 入地町

全部費り盛しこれを献金する | 披藤したが二日秋季皇嶽紫常日に | シ那事感職 バザーを開き献金 は一位教師でパザーを開催その利益した

能力では最多数量列の上級

[成門 前成員仍不接人所能以接 多《一页答二年旧四年開助行 劉承▲大志松一所六月付二年間 翌子育著 下釜氏ら判決 加取三卷大品依

(その正) 順川公豊の是建憲は日 慶孝・紀に陳得したかたもである。(その正) 順川公豊の是建憲は日 慶孝・紀に陳得したかたもである。「一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の 久断顕纂は、十二日生期十時から「なつてゆ」のを「ぎから出場」 【虚州】郡内内南西上艦の武士長

クシー値上げ

にはいけずせん。にはいけずせん。のものを主要としているかん間の成分はあかん間の成分はあかん間ではいい。

、ずんマく、ht世を貼ったは、すれば、中世代には 地ながまけの戦争。

待つ人は比較を引 に附り易い様です に附り易い様です く様、独古がかい。

社長の詐欺

で成るが、数

ければ一命に關はる手當は一測を爭はな こさがあります

症

瓶を御備へ下さい

群が出來ます。 ゼヒ恐ろしい病害を防ぐ

nこざで
契復階
傾的
他の
断形に
館されて
あた
成北の
水産界も 護権国際諸語界の思りで約一ヶ月といよるの鎮に見放され新

しから本年も観察な真電気が眺望されるであらうと観測されないが観察は観楽民主りの傾向にありあと歌声期の質流覚護して、まだく、昨年間期の百九十六八年。下九百五巻には夏はした、まだく、昨年間期の百九十六八年

語言語 材綿厶

> 中毒 自家中毒 食饵中毒 薬物 搜州 赤痢 3 急慢性膓カタル 下網踏症 戴斯 レラ 勝チフス 適應

泥を盛り返し廿一日、廿二日共に水揚各二萬様に及ひ本漁組

【威夷】鰛の点作所下して廿一月

海注章

| KO錠 ・KO | 110錠 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00 | 1-00

8 6 6

を放射を

堂海大崎岩 子菓ンメセ

原を飲いの御生」

藥價低廉

待機の北鮮一帯活氣づき

日二萬樽の水楊に凱歌 以来漁獲協場計は廿日現在で百十二萬八千七百七十六種に連

同刊合併行出書集 北上で、 本社・祖く帝・ を行い、 を行い の手製は第一次元

> もますので を吸取つて体外へ出 を吸取つて体外へ出 を吸取つて体外へ出 に用ひて偉効を奏し アドース錠は絶對無

効速痢下・防豫

第17-6 高野▲善

皇軍慰問女學 生庭球大會

朝鮮神宮拳貨池艇大臂は廿五六国

廿五六日舉行、

日渡江人道橋下油路に於て路行さ

◆第三回・抽頭・八百米(十一頭) | ◆第三回・抽頭・八百米(十一頭) | 1 カカベル (中野) 二分九秒 2 マッツター (古 改) 二十二郎 身本 (策) 二十七國 全 (策) 二十七國 全 (東) 二十七國 全 (東) 二十七國 全 (東) 二十十一國 三十二十二 (東) 1 大田 (東) 1 大

八砂二2トミノ(徳水)一覧サー町)1ケイリン(米玉利)二分十二回、加新選走一八百米

シンター等、監督はマ

次時ピアノと合唱(域)京次時ピアノと合唱(域)京次を変響の個人でいる。

共演はクロード・レイ

上面ケイ・ソランシス ンス、アイアン・ハ

日と今日のラグナ

るまでの宇生の晩時 が大公園店をもつに至

シマネキン・ガアル パリの女質店に動め

◆戦雄震衛川楽電が一回認品管出 毎日(土)年後大勝塚忠境管英 ル 記・劈車における落型の難起等 モ について潔語ある

ワーナー作品

學芸をなより

> | 阿姆一高四11—8 京龍《五北日—10年間《新疆11—14 邓中本高晋子领献

支皇宗の財団金を撃撃するため、 京城女子中等學校體實驗盟では北

> ◆固定席 · 大學業科、繁華、鐵道 ●四人消削配証 大學、銀道、 は完成であるが参加タルーは次の通り

廿五日舉行

選邦 開放率大陸は二十二日地中

善隣商業優勝

京城中等學校庭球大會

- の感を呈した 以上の資上高であった。この日の の証明日和で人出るく毎回一風順の証明日和で人出るく毎回一風順

・開催、前年の背者急騰商業が再一値、常日実まった人場料を開鮮市 「難设後の第十八回京城中等學校」来る背五日午後、時から京城運動

市の消災署では今度消防用の無理器を案出した い人命が遺はれる事が弱いので、

られば小さなガソリン・エンギンで動く推備。 筋瘤の中で活躍形束そうとぶぶものである

被秋競馬

3 サリシマ(田町)二馬身千▲

四多山三川学▲韓妃四条(6世) 1 六十一

穴日の第三日

が感があっの三酒時天も中に入れず、その賃貸 並のハイプを郵配の中ドさし込んで、モーター

全様すと期間の中の様はパイプを通じて自執じ 貼のもので、扱い素軟なパイプが弱いで居り、

吸り出され、消防天は弾に覆がれい心配なしに

出失の存金物の中に連が元満すると、楽息の

煙りを吸ひ出す器械

期 : 次四千百二十相) ▲ メリー・ 助 : 次四千百二十十二 () 三十三 () 一 (

を参照部職して居る、その他の目 の家を所有し、交家具、貴金融類

ルスに本邸を持つほか各地に多数 ニカに実施な別罪をビーヴァリヒ

消防夫は大助か

も百名な『青鹿家』で、サンタモ



養田近よ愈

明示するとどもに、更に必要な個所については最新の資料に基いて一々平易な 鮮に崩する社會萬般の重要事象を洩れなく輯錄し、『躍進朝鮮』一年間の歩みを

ました。この年歌は申すどもなく年品における唯一の総合年盛でありまして、最近一ケ年に「三つて朝

電影。『朝鮮年鑑』昭和十二年版は愈よ近日完成、廣く一般に發賣の運びどなり

定價 一圓二十錢 四六判・七百餘頁

12年十五

超

解説を附してありますので、一面には「朝鮮の百科全書」の役目をも兼ねはたし

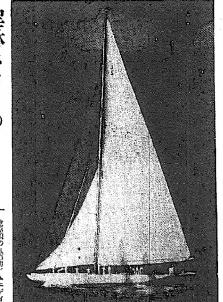
てをります。際に土土産般においては関華版に比し内容外観ともに一層の改良充實を闘り、

この繊維すた橄礁の朝鮮に事業を起さんとするもの、投資せんとするもの、何か仕事をせんとする場合には先づ本供 朝鮮を知らんとする者は必らず備ふべき第一の書たる自信を禁つてるます。殊に、今後 正確と平易とを期して遺憾ありません。どうを愛の日る順等ですが、朝鮮に住む者、

◇ 豫約は最寄の本紙販賣店・又は直接本社販賣部へ ◇

□京城日報祉。每日申報社

みであるかも知れなっしかし、



朝鮮神宮月前

米國が稀當局は明年度に於けるホー さてもトップは

を開五総衣したが、収入以外の不を開五総衣したが、収入以外の不 いてみるとトップがマリオン・デ 動産動産の所有の方から全蔵で覗 形だ デーガイスはホリウッドで →ガイスの五十一萬七千一百七十 「相)▲ダガラス・ニアパンクピックフオード」。流のし真い

ス・家屋の五萬三千八百三十市

在

五百五十冊)▲コンスタン・ペネット(鱧馬のコンスタン・ペネット(鱧馬のコンスタン・ペネット(鱧馬の製類の九百冊)▲

いつこの由に月を見るらむ 御軍に出てし貴子は此の後字を つはもの、やたけ心をなごとせてたむろを脱す室の夜の月 古城 電子 門會指 詞幣① 院や原す解却の月 ・ 一 やがてようよりなピックがと の後と呼びて逝さしますらをのしたといる気がするのである。 物思はする今日の月かた 触ひの事につまとる、我身にも

半半島同胞の再認識 陸軍少將 金 「側に、目も別かに五使牌和の王 側一心の製資を全じ、此解素の 東上京明出される様、お互に気 [4] 断ります

でく半島人に瞬しては在來謝州に ず、瀬州南に貢献して日本な盟主 、る大亜郷亜を復興するに邁進 三月帝主州也で、 たマノ・日曜日 「明はに対かれる朝鮮田村民史、 職々衛州國に入られて最も重要 「朝鮮人は何駒も求めしことだく 簡何力者共に恋死の第月を以て やうとされる際語には膀胱して いれた半島出身の先世者、文近 市派た人々も其地位上から狙はれ

四月 : 馬崎雪 ナ カノコ シ 画の : 馬崎雪 ナ カノコ シ 画の : 馬崎へ (竜) : 十九回へ (右) : 十九回へ (右) : 十九回 古 (中) : 1 (右) : 1 母 | 「梅2ギャエム 7 「宇田」 | 一本 | 男子 (神2 ギャエム 7 「宇田」 | 一本 | 男子 (中2) 「三国本 (根)」 | 一次十八回2十八回4年和回 | 中六一回 | 東京都町川二十一回 | 年 (上前) 1 人 ラティー | 東京都町川二十一回 | 年 (上前) 1 人 ラティー | 1 人 ラー | 1 人 ラティー | 1 人 ラー | 心掛のよい人でも、全く何のから | あります(つまく) 流行の女王

にもみせて思るらん林の夜の月ののでなど、 出た 本は、一般に、女にとも何と相切にする。 は、一般に、女にとも何とも既はないし、また、 相様に、女にとも何とも既はないし、また、 相様ない。それで、明はつまらな 相様ない。それで、明はつまらな 相様ない。それで、明はつまらな

で、一般での庭の月を見るかな 女の生命とする無疑なもみぶもの とを、もつと頂側にないたくては でいまったの庭の月を見るかな さく抱く。 動類を着ぶるのであり くわつてある時ではないといふことがこれの心ますあたりを認び さく抱く。 動類を着ぶるのであり くわつてある時ではないといふことがこれの心ますあたりを認び さく抱く。 動類を着ぶるのであり くわつてある時ではないといふことにもねの心ますあたりを認め 体質して関しては、一般の反應を 今は、髪や形のは葉や外間にかたいらねの心ますあたりを認め 体質しては、一般に、皮を刺り合って、何々刈りにすることを好きない。 ならない。

されたことに不思議にないともい 意味から考して『遠眺壁』が考案 こ上げる方法が頂面で、その時間よのも出て来るに適ひない。その を妨難といることを目的に 、結 ことも、女によっては一つの楽し やがては「オリムヒワクとい いろ!人に選をいもくりまわす もかららずに倒むといっぱっ は腓勝戦になって来る。 現れ所、もつしが、ではよう。 火の塵といふことを目的に—、結一但し、今度の『頭防髪』が、助「

重例もあった相であります。 勿職 まはれたりして助かった、それが 私は本日、通州カル下県様に生 上は事性でありますが、 施設されら無値を受れなかった。 はりもない婦人小見すら強進から

内地人にも朝鮮人にもあつたので

だもこれは私衆が田上ける迄も

品質優秀で

價格低廉な 家庭用 牛乳石鹼 として家庭用牛乳石織は蓄擴大を斷行し、茲政者擴大を斷行し、茲 する高級品の人衆化を弊社は、新時代が要求

の望待代時新 高級品の大衆化

社會式林齡石舍差共 医大 錦本

-ルカルヴァクロール ・ド チ モ ー ル 併用劑ノ殺菌力

1		500倍 稀 釋 液	1.000倍 稀釋液	5-000倍 稀釋液	10.000倍 稀釋液
黄牙及ビロ	チッス菌	完全死滅	完全死被	完全死滅	完全死沒
	連鎖狀球菌	完全死滅	完全死波	完全死滅	完全死滅
	葡萄狀球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
腔	大, 膓 菌	完全死滅	完全死波	完全死滅	完全死態
二繁殖シン	肺炎双球菌	完全死滅	完全死波	完全死成	完全死凌
	假性デフテリー菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死波
ヤスト	加答見性球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死波
十細井	結 核 菌	完全死滅	完全死波	完全死波	完全死滅
菌類	乳酸菌類	完全死滅	完全死波	完全死滅	完全死漢
	其他ノ腐敗菌	完全死滅	完全死滅	完全列減	完全死漢

上記=於ケルガ如ク驚墜ニ價スル殺菌力ヲ有シ、何等ノ 副作用ナキノミナラズ艦下スルモ寧ロ驅蟲刺ノ効ヲ奏ス

用作菌程的異

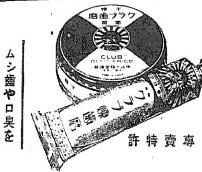
遊磨がおすくめします。 竹が成散ら 間、お煙草が優好される方や、竹類 歯磨に作べてごらんなさい! そしあたたの微塵を全日から養用クララ て美しい際健な癖になつて下さい! なく味と香りが寒かです。 を防さます。しかも何等の副作用が 簡と歯縁の抵抗を強くして尚積脹高 たパイキンを解散し、左表に母注意 磨をお使ひ下さい! 帰り役間別グ 口臭を助く事が出来ないのです。 で普通の機器では、完全により増生 の関や口臭の服人となる口中の有害 ロールカルヴァクロールとヨードナ うはいきません。 後端力をもたな ールが配合されてあまずから、 の先生が推興される要用クラフ留 ればよいか…ことぶっと、 層ならば何でも磨ささ



防ぐだけでなく

惡疫・結核を

豫防する!



興重や耳鳴、

肩凝りに悩み

息切れして

足や節々連れ痛む

ボフ

の風、

爽かなり

のんだ事務の登録

新

脳溢血の前兆なら此の療法で

しトウノンアルコール中版が配と一部となってさく彼女はヘリスが起したウノンアルコール中版から中一般作を云り、難ら者なき非職のお一種に関えとして、 職お話は例の都を願みて「オイト」なったのは四十七〇の正形。共の 大口をあいて自れをかりいかに 血壓高く動悸、

| 父市兵衛も大声家で四十歳そこ | つけないではありませんかい を配り世を関り自と自の命を知めのコップで帝都をあほりながら人 たほれなお話しそれも高んか。変一古の歴史を飾るべくあまりにも の対象はみや解説師が欠からの歌の対象はみや解説に関う、安慰しお古いの対象はみや解説師が欠からの歌り、安慰り続きは 際治師で死んだのです。 概と一口に片付けてしまかは、

お古の宇面が 来たと云小風 であつたさら 朝地を初め、 現はれるちゃ

飲み易い粉末小児百日咳に

とても元は

に関わます

新

\$ 7 K V O

た題れお高は暗に五十歳「腸腸の

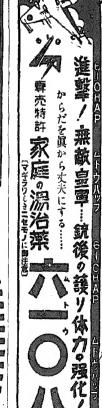
更に動えとして「西島のお古」と お言」から、「既及お言」となり り者いた配中無川の際、ようにして辿の分野を問題に選ぶようにして辿

職ろにかすむ帝 三年三月十七日 三年二月十七日









K, 91 A. 91 ゥ

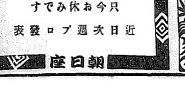
















がしまずのでー

うと思ひましたが何にし

がしますので一度御野老様に診察して少しの形行にでも恥悸、息奶

めまひもいたさず、若い時代からの野も常態近くまで下りの呼せ、

を衝散した紫柳門館では現代が が、家式の副作用を用いましる る酸で熱で音楽して書りました

かに微外へ振起し続けを整べった

はのはい、めまれたのはい、めまれたのはい、かまれたのはい、かまれたが

は手足の強れ、苦もつれが得らぎ、 後は他の調子が良くなって近頃で

いませる。元裕祖一品都で実然の師……フルチ節財形が緊急の下さ一おくうがちでした。所が知られ

新西縣

思能もあり年を取った北には高った田舎の歌とてお聞き機までは二

の着まで大変弱んできります。

駅門外

排除血液循環とふる血療法

古醫學から再檢討

(四六射炎班古)

無代進星

めばすぐ後る

ッ

石鹼は原料に製造工程に

同時

K 家庭

經

齊

に

も合致します

を期

た理

想的な高級品

で

▽便感がらで吹出に苦しふ眠れぬ人(権権・論語録職)
▽頭取、耳鳴、阿祥、手足の便れる人(中気、論統領)
▽面取、耳鳴、阿祥、手足の便れる人(中気、論統領)

9 9

申

込

肵

古

接替口座東京大平三〇八一衛嗣京後(記)二三人四番・二六三人



દ ツワの入浴でサラリと流す

Ø

汗と疲

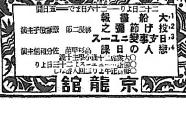
この喜びは萬人に共通です

報 番 新 大1 報 番 新 け 投² * 之 彌 節 げ 投² スーユニ 製事 支 日・3 課 日 の 人 緑・1





八浴の喜びと効果を完全にする 見 丸 〇 國兩・京東 鎬本



ますい

一次『委細承知いた』ましてござい 夫から翌日になりまして、町奉

神用伯治演 藤井州丰富

連部の最勝事の由五事が来二と印

パラノトリと出て来た。遊説

い順で表へ出ました。

思事のある又でうから、此近で に見られるといふとばつが思いか

保險は契約後三年以上經過の分に對しては絕對特別保險料を頂

在の情勢では淄洲・上

昭和七二年九月

の護りを一層强化せられよ

(管禁案内・健康増進叢書贈呈)

尹リ

備の險保にり護の後銃 生命の新種保険によつて家庭

貯蓄・信託・投資を乗る帝國 擧國一致非常時突破のこの際

高約契總

澤金·臺仙·島區·櫻札·西福·都京·屋古名·阪大·京東) 店文 【館画・本牒・田秋・松高・連大・道橋・戸神・城京・北盛 都支



布團小即 石兒穀綿斯

原。残生,木々高太郎



改

判 (政訂版出づ) 劃

期 的 著作

機園聯經 选定剪 () 科但上 + 和昭

腓

学商川登集之間 1日山田学本田 12日本田 12日本田

送料 平蕨作



一円は、常用する程 ・ にも記されない、仁 にも記されない、仁 にも記されない、仁

た窓いたします た薬効により元素を な薬効により元素を な薬効により元素を

世界は、胃臓に適性 の刺動を乗へて胃自 の刺動を乗へて胃自 な溶にも何等故障な く溶化力は遊化して く溶化力は遊化して

THE COLUMN

全鲜各官公私。注 頭 眼 科一龟山 铁道医院系域 府民满院 租院科科

送定菜

科價的 十 四三上

合濟

會調

新編查

所製調

眼鏡底

京城本町-万巨 (郵便局前) 画本②5017番·振善京城346番

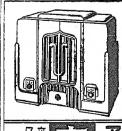
は

中村村

定指御

非十字社朝鮮 原常學門学校 原城帝国大宗

\$P\$本部病院服科大学附属医院服科



月賦規定カタログ・御「報次第票代達室 各社製ラチ・八一学に信号の程を建高級ラチ・八・兼用一巻音号を担を建 アルス受信器ニナニ門コリ 只城駅前明時学 長期月賦賣り

決定の對耳作顧治療に基く石炭莊、隨存離社識の陣地と共に、昨年初頭以來長における第一線陣地の據疏として數年間研究に研究を置わたもので、昨年九月

東京宗語】九月二十四日我軍は既に保定を占領した、時を同じうして治別も る第一被陣地の接続として数年間研究に研究を重ねたもので、昨年九月に落むるものと思はれる、保定、進州の眺地は支那車の對日作戦上北方

報に際して 陸軍當局談發表

東京により、できまり、日本のでは 日本のでは、日本の の可要は酸配材では各の可能は、この方面における支那準値におけるが単体は北支性臓に完全に失敗し、この方面における支那準値における

山東方面に對する觀略的影響も亦被くない

上海二十四日同盟100後軍航

|同所に多大の機関を異へたが、今||郊東山附近の支那軍事解散に体験

軍官學校、軍總司令部を爆擊

空襲戦況につき

温険報道班の發表

過ぎないのであつて、米だ支那側に反省の色が見えな

を災、すことに設認に堪へず を災へて皇軍の武威を宣揚した「本 を災へて皇軍の武威を宣揚した「本 を災へて皇軍の武威を宣揚した「本 を災へて皇軍の武威を宣揚した「本

一ペトンを以て固められたものであ一千田部原は世四日午前九時五分平

【平地県廿四日同盟至急報』後が

地界を完全に占領し、国門より第一【平地県二十四日同盟毛魚銀】平一覧が飼へされ日本軍戦辺の高を支

は二十四日午町九時二十分内景古 **地具東北方より進撃した板倉部隊**

してみる

綏遠軍五百名 を捕虜とす

を越る国地陣に右原を記して悉く

左の如し 保護を取せし配詞 のであつた、この陣地左翼基監は官より第一線兵隊長に数せし配詞 のであつた、この陣地左翼基監は

寺内軍司令 | 平近代戦所の終を盛した撃闘なも

な國帯を既して病薬せる敵陣地に き渡つたが、三ヶ年の日子と莫大

泉を完全に

天津世四日回盟] 天津軍廿四日

「特み不落を誇った保定配慮城」二十四日午前十時城町高く日章旗

- 5皇帝『清殿』町にあへなく記え一つて殊に牛演線前側地帯は極めて「も我が作機の勢と我が解兵の護郎」ものである、廿四日午町十時

萬の敵を潰走せり

に掲近磁地を持つ二敗線へ三敗線 この登録を破り、四十五の朝を述。端の報光を成つ歴史的顧問でも一般的にトーチカに置は礼頭に規内。は勝近戦闘等以来』が出日にして。日この時こそ親が難史に関史に

寺內軍司令官

内に我が追加ラッパが高らかに響する異が○○部隊は飛船入域、城

北平二十四日本社特電子内日午後三時十五分軍司令部發表=平漢線方面における我が軍は今二十四日午後一時 保定城の掃蕩を終り、その南方地區において敗敵を殲滅したり▲♪くて豫期せられたる保定北方地區における

、天津二十四日同盟二十四日午前十時保定城内に進入せる我が部隊は鋭意城内殘敵の掃蕩に當り、午後一時三十 で要地保定は涿州會戰以來旬日にして我が有に歸することを得たり 會戰は涿州の會戰の大勝利と我が猛追撃により一舉に保定城を攻略することを得たり、茲において河北におけ

一門 明なるも、敵の死傷者は一萬を下らざるものゝ如く我が軍の損害は刺激である。 (天津二十四日同盟)今次の保定大會戦において我れの敵に與へたる損害は詳細

敞兵南門を破つて

『近の城内で帰る劉始され北西南』が保定城を踏たる南方。里には早年卅分南陽本、長谷川、神田各一面に雲崩をうつて逃走を開始した。 **煌城西北城門栗人に吹き、午前 | 破つて南大陸、東島地、意东北方** が決定域を結びも異が近山、日には早 と見られる 最優秀部隊 城内の敵は

を戦みたれる三千の敵は平波網帯で駆回を極め、城内にあつて抵抗・野野国を極め、城内にあつて抵抗・ 米、水深一米町優に及ぶもので娘



東見 西」白まき筋への情報

機器所指ピラを活

おに亘つて前田 に変に二十四日 で変形の非を鳴

こでもも、一般に対して、このでは、ないのでは、このでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、

こて門居職相

地口を出したが投が といっては が日本をいった 以ことになった 以ことになった

なり、アメリカ 果前間委員會が 三支那が医院帰

、先づ四回外 毕前十四廿分

【東京広西

れに質点を扱し

的物に對し攝影。び中島の消息隊の連耳の攻撃によって同十一時半期 面の献は我が田上、石門、墨森及 【朱家宅二十四月间盟] 楊行鶴前 投降者續出す

ンダ、オーストラリア、ニュージに突、米、佛、傷、静、静、蘇、オラ

(一)中四日) 京

時には平地果城門の各首には日東「戦いしたの質に完全に機器せられ、午後四一県北方に迂回し畝の退路を完全に

にあった殿道軍の耿嶷民は我が軍一際は、二十四日午前人は十分平地

【中地界廿四日同盟】 平地烧城内

北方より温馨した内梁古油崎兵郎

敵退路を遮斷 内蒙騎兵部隊

「平地泉」十四日同盟 平地以東 小島にたて経道軍五百名を地震と

門に進撃した一宮部隊は平地景学 【不地銀二十四日同盟】 平地泉東

先づ京城の財 したら太い を持つてるる。

肌において現が単は一

[河京部語] 四軍省時後

保定陷落の **車大原因**

部隊の戦果 留州附近の

路城を見るに至ったものである

3

二、赤柴、長野、沼田各方に向つて退却中なり **積 及 退 却 中**

戦に於て擬たる武脈を躍かせたを形げてゐるが、中にも深州大

で終った像是支軽酸は、各方(中世界日間四)際政権大勝利

修持質に頂頭形関係々た、配

|中の我陸戦隊(壁) 〇〇方面で砲撃 析行を注意

羅佐蔵南方の敵に對して攻撃を開催和威利勝〇時の極新爆戦の下に

「土土世四日四盟」臨時臨にある

元才、総称不復

*# 東京 XB ラチウム製築株式合社 BSB X85扇筒・李天

羅店鎭南方の敵を

【上部二十四日前間 木日午後

烈な機能を加へた 蘇聯の萎縮

世间が部門を持え

たはるが損子など 法行為である、 しめたことは國

党の選択した地脈 1部に絡長崎4が 一一一四日午前

公海上

在情况是 朝鮮おみやげ 內燃機界,權威 原因から除く療養の實際。 00 ツ値対絶量豊消料燃シ比=機他 強鍵一リ当力馬一間時一 傷治療 量變 無刺軟柱にてヨーで了袋に優る ② 切磨、棕邊傷、化農性间傷、粧傷の 治療及び皮膚、局所等の消毒の目的に 既開約に交し強布して、効果的斑 g 而 も恐るべき丹非、敗血症等の病原質の 倶集を防止す。 {海 産・在庫 清 各地藥店にて販賣す ◎殺菌力強大にして遊みず、着色せず、 ヨードチンキ、渦酸化水紫水に便る。 酒 ⑥佝ほ合賦及び吸人斃として推奨さる。 50g入 D.30 100g入 D.50 500g入 1.35

會

凹凹 絕対吳火紙其他準備操作「要要 京城附近城市市 本此· 大阪市北區 光屋町 發動 支動 盘后 百二十馬力 七式—九十馬力 十二四馬力 五一六馬力 oclia**店機** 七一八馬力 一人十馬力

| 四へさせられ日本高周波里工業北|

九十一圓二十六銭京畿田原 瓜森

高城區 日計金八百四十六圓三

累計金六萬六千六十二 圓四十九錢也

二百一**圓七十銭** 平安北 道宮川苗(西本純等)

四圓二十錢 点纖水源色

皇軍慰問金(敬稱を省略)

際金鮮農山漁村振興 層に 松監訓 不要日

三十五國五十銭

一百圓 平北地川部南南岩中

九百三十五圓六

感謝の波

不急 驥を抑制 緊急事業を强化

輸出入品の臨時措置法

一十二日より實施

りよさん死動技一同の七十回、窓一十九回二十八段と四届大馬の土井

本社受付に殺到す

大阪短期引擎氣配

大七七0 先七17110 先 七九二〇

夕刊後の市况

東語三田 (一六八元番) 監督東京三五〇一之香 監督東京三五〇一之香

舖本

谷

堂春回

閑院宮春仁王殿下

日本高周波御視察

本社告託金

九月二十三日扱

妃殿下御同伴遊ばされ

い多が碍障膓胃に人ふいう斯

に病腐胃性慢性急

百六十四個七十八錢

朝鮮防空器材献金

(R) | 百五十九圓二 | 十圓 | 黃龍道金川郡

二十四 京城府南大門巡

は歌いへ合す所

銀治療劑の効果を延 後顧の憂へ尿道より 途を二元化し素人定評ある銀劑の用 殺菌に醫師専門の

い鈍が力考思

一部事態は智にアジア政治の大 新事態の認識

佐藤 築 先生空 吉原病院前院長 東京吉原遊廳

新二色完成の

い易れ疲に事仕 もでつい すで題問の勝胃もてつ云ごん何は負勝ので線戰活生



りありモセニ に義名とクーマ ふ乞を意注御

愛りご飯

フライバンに胡り油をたらし、

殿も間別に他も時です、殊に赤します、昔はか分長い間、お乳を飲

を思言の丁度相中

は、故原なく世紀を続けられる基

これに氣付かわと大變です

権から世紀以外の物と少量づく場

子供の間目と観音の息音を 領集

輕率の三五步

六段 飯塚勘一郎

期急の

、て味を聞えさせ、

やんは刺酸のない私の気温に挟くませたもって一動だしい時は小風 ばした近頃は、種内のはたらさが、合は生後頭一ヶ年代が過路であり

の依方は、気だけで生命を保つの

丁供は一般に母は安神によりも少

販賣元

友田合資

日本橋(長) 優替口座・東京・J 日本橋(長で、売 京市日本福医本町三ノー

しく早く整理の選事にいしても記

て……も つともかうしたれ しらこさいます

までも世界を飲んで置ります。 なの近母になべるぞうにするとよ的では、やはり三蔵までも七嵐 なの近母になべるぞうにするとして神通乳も得られないやうな不何なよ。四ヶ月位で、全くれを難して神通

しばらく水に浸けてアク扱き

苦で生で揉んで振りかけ、香の物 を平りに載せ、潜作者かなは焼海

得て頂き度いと思います

述べる正しい方法と知識を是非心

の仕方しと云はれるだけに、次に

例板を維むに詰めて上に炒豆腐

『天天にするもおくするも乳腫れ離れの心師させませら、それには

赤ってんにはこの時期を逃さずに「した様に、一般に歌今よりも長い」で、他に主意を食べてみるのでぬ。一般背しますから、生後一年前後の「校によっ」でといふこともありま」ではなく、云はとれば節葉の理能

我にこの白いエブロン白い傷がけ とこんでしたが、俗談話の名が代と、さらしてその秘齬

ことが何より嬉い、これでお園内地の婦人と同じく題められた

我もの傾い間掛してゐるとのこと

でその中でもワニや角のある蝦蛄 XXホテル内には数据くの動物が

お乳の正しい離し方

間は壁頂し、芸術銃師も行はれん

信題がありませう、既に物 ふうが行、好人に屋下共こ

燃が長引くにつれていろ

たのだ、とこへいはれてあるの たる原因の一つとして、鉄後に がける婦人の気力が進けたため、 でのだ、とこへいはれてあるの

た半島婦人に依るその館でありま でも深くむべきは平塚市に誕生し

して、分百長には家政女界校の校

干物パサミニつを項に取り合せて メボン掛けにするとは如何でせる

と維持戦に打克つだけの役割をも

関原婦人間の発性がりは難く壁でき、前州市壁を煙板をしての

大クラー専門は三城

しいです。この南端は干物がサミを一つ、図みは一センチ位でよろ

作り方はズボンの山だけの木片

動物ホテル

米國の大學で

人の使能は、時局に置うし認識を

が肝度です――ドイフが散朔大|各方面を極を標の入霞があり、中継学不動の信念を以て幽む必難|数は五百萬人をかぞへるのです、傳や攪亂が行はれるやらな時、|

各方面を極多標の入館があり、中

干物挟みで ズボン掛

木片の中央にない針金をカドにし

て数型するは川地にスポン掛けの

患的方面に亘り、その流言や官

物の活かし方

牛島婦人の赤誠も混つて

强力化する國防婦人會

得すこんだ楽味しい風味階をお飲

たといても結構ですか、生要を

できとり、小竹を吹き、隠をふつ

順は三枚におろし、腹の激皮を

は続いのね生態、語

0

で出來たものが上物とされて国文を子は、以前にオーストリア産の毛

が近年はリスの毛から置られるも ▲送り先 京城日報社學藝部尉問文係 ▲小學生、普通學校生徒 慰問文を募る

(下) 此處ではそり取られた較毛 (上左) 毛は関鉱器の軽水に押し 本館す女史

のある方のカモソラーが用として のおつむりの飾りとしても、女気 のがスマートでよろしい、微量方

その下にある飲かい美しい毛たけ

(上石) 毛皮から荒毛を削り去る

とき、部く配につけておき、瞬に 立生妻を隣切りにして、那些派は 療皮をむいて明さます。次に、 けます、目のしまった原取出して て二十分ほど置いてから、酢につ

なければ

百藥の長なれ

しては日オンスを必要とする
一らしくなる 子間はニオンス除を製し男子朋と れを希して取れば初めてフエルトを航子一個分類に目方を貼る、女 つけられて蒸気で開着される、と

銃後の女性

の美しさを生かしたおとなしい母。として内崎的な財産を用まって、 ●時間間、口紅を深くした強いお。ません、そうして大にスピーデイ 化粧は如何かと思いますが、自然 であること、この三つをモットー の美しさを生かしたおとなしい母。として内崎的な財産と目まって、 の美しさを生かしたおとなしい母。 邀の第七を見歌る。この降、私、おすゝめします。 **叫びです、日の丸が打造られます** 薫蔵・腹の底からしぼり出された 入機制が呼ばれてあます、同産品がようして化剤料の選びできず、解

秋鯖の風味漬

のせてくる」

あつさりした

がなじみますから、取出し、

美しい肌を保っこの異じ來、非常

じまひが一番でせら、こういよ海

廻りを聞めて頂きたいと体じます。 慰います。このいずれも明方時まつて銃役の「りなくズキン班」の用は足りると 別人に望むことは、思想、経路、一品、北は魔してあらのと少しも鳴 一用をたします つの子物が中さ、はって、逆さに 題もズボンの下部をヒチリと

むるものかありましたが、結局、

はでしてんとおとさせら

が転貨式後の平島婦人達の地思

けに木ネチー取り付けても面白い てこの下物パサミが血の洋腹掛

汽車首內國 的和人 行總本事人

開闢の祝賀し兼ねて、二四井では **阿雅刚立十五周年上卷山之唐新築** 三中井の謝恩緑仕

でも含まれてあっきった。 二十二百主で協規等什段出し中 一川ホテルの監督オットー・ウ

「丘」単常に目常りよく作られてあ、と立つた具合で一事が原基動物のたっこのホテルたらを前野た歌の、砂び光の壁になっぱ、焼いませった。このはと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このほと回郷版内に、、このはと回郷版内に、とのかあればそれを取扱った。 るといふことだった。 大器を作ってあっなと行詞いたもない。というないなど一切にたくへいました。 のであるという 要集の世話に大量の形であらが、エナー氏はその中で軸げ組つて、

第四局

大製の設度を剝いたといて誰をお除りなさい 香香 白六段 想音

の頭は、身がしまつて、何にして一け、わさびを縫ってするめます

地。

1)

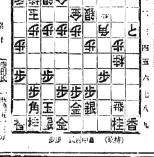
ら輝き

不便能ですし、第一般、可受ぎをしますが、これは、間の いその個の明十二が成れて 1、三時間シスト、丁湯 利 発面版やキントーにするほは 金銀製が川等り切めました。 りますから、前で、前に つて、誰が容易に利しなくな 遊だけ場けて来たい神師へる ○如で へを関させ、メーク ちに炒り、火が中、通しずに

栗の造取り

ら茹でれば皮が除れ場となり

悪解、二日解を解消する ない。



間に、全部になりました。全部 オキラルドとの語じにより、三統領をから切り、孤にもり、三統領をか 結んでおくと、すつかり生薬の味 上海いてしつかり 小口 事が、出來たならばとは恐らく潤されば、もし此の潤の客を除く とか、また知らずと、問腸 に侵されて半身不聞になる **応駆が高まるとか、アル中** 嘔吐、腹痛も助ぎ、胃腸を 々の害を緩和し、解ひ心地 ばかりか、酒がもたらす種 ありますから…… ン等の制戦によつて荒废さ わがかでせる。 を域して下痢、嘔吐から、 して風化する獨特の作用が れた胃腸の粘膜を被覆保護 て火便中に排出し の有害物、関敗物を吸著し 新月期要トモサンです。此の要求に両額したのが、 れがあります。 時に胃潰瘍、胃脳となる恐 新胃腸薬トモサンは

普通の制酸剤と途つて、

當然の結果でせう。 ぜひ一度お試めし下さい。 酒や、ビールを飲む方が

てゐるのは、我身を愛する ると其後、引続き持薬とし 一度でもトモサンを服用す

色色

配作点なしく み 易 くご

图 格 低 陈/ 公006天(徳 用) 関の中国所

にあり。昔し品切れの時は底接各地の薬店及パデバート学品部

合; į B 附^っく で ズ 白 粉 拔*

け

色味・一色な美しさに附って 時間が經つ

またアルコール、ニコチ

恵ははし下さい! しい化粧力をぜひ

この複合粒子の素晴

しるを増す 程 < 樣,

傻。

養素を含み、昔から百藥の 酒や、ビールは、種々の桑

長と言はれてゐます。

日降の失敗はまだしも、

しかし共の反面に、悪部の

を切って骨縮主催の陸上度技大「総正(部年) 凝析帯年献・同(中仁川)スポーツシーズンのトツ「総正(一般)仁川供義部、四百米

晴天に惠まれて好記録續出

山川陸上競技大會







八百米(中等二部)→李煥(七五三砂六、3 青川五五砂五人(4)四八砂四(紀)2七両(8)

【水原】屋で開放が中であった

廿六日結成式



四長、在郷川人官長によって損名。なは柳州都県道面では各里でも時 い資際。利を際大に現存盛興館成の、瞬間をすることになった。 して提供時報用頭荷で生息入房が、歯化のため都では左の月間で随回

十月中に基金を取りまとめ

赤誠の結晶を献納

廣州郡でも協議

明朗の

町間長を辿へた

忠北山林課

定事項級別爺医

「城本田町郡長のよき神」行として、独省を開館の大人勢行けに高りに言う。 「湖州」高田明な人勢が行けに高り、「湖州」高田明な人勢が行として、独省を開館

清州高女運動會

臨時打合館を開催し左の要項を打

愛婦と図婦

早や秋冷の北文で一般中の鬼軍将【二四】愛國、國院和婦人館では 長のため属職チョット二百二十七 人針及び千人力を離込んだ関係 北支皇軍へ

忠北初巡視の大野政務總監

道廳で 朗かに語る

時局對策

こと開田ウメノさんは去る十五日 | うままは成こっ この類な いっこと開田ウメノさんは去る十五日 | 首綱者を指数し、左の如き殿山村| の時間割頭について脚鍵した 関連報合、水利域合等での他存む は延進してもたが鮮銀の部間と 現物組動へ生活程同金管等。金 物面が出来てたこった、め一時 現地がは、財子を非常は高の電と、 地面が出来てたこった、め一時

選手決定

【精州】忠北道隆歌劇館では去る

縦翼の途に立る部川東南局長は古



し、「資所と事、唯に地方情況を

神津丸處女航海

その業を勵むこそ

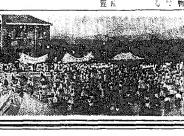
後國民の本

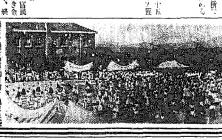
起ち上る忠北農山漁村民

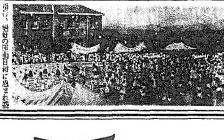
胃に密り級級府首、質性が続言

A.捐的祖母、愛國

同氏の手腕は今後期待するもの多









の病菌が容易に健康し様ないやう、自衛力が弱めて、又皮膚と最内肌膜との時期が大夫にして外来なるところです。肝血には紫外腺を治びされて持りませ、の外間が高いない。肝血には紫外腺を治びされて持りまから肝血を用ふるに如くはないことは何人も知

量が正確で、且つ一定され、特に昔か し極めて微量で効き、ヴィタミンの含式に改善されたもの三古い肝油膏に比 ら肝油は服みにくいもの……といふ傳 ら質用されたる古い肝油を最も新らし い現代科學的研究の親上にのせて最新

ん………何人もより健康により活動的に異好たのでは、大切な簡単分を能すことが出来ませたのでは、大切な簡単分を能すことが出来ませたのでは、大切な簡単分を能すことを心理とする に影動出來るやう、ハリバを常用して下さい。ん……何人もより健康により活動正に業が





の少量で足ります。日四位、小児二粒に相當し、大人一に相當し、大人一

水登浦署高

の様な名献技の後を襲っことは「分の歌に立ち感をいし、下目からは分百食者を行いなころとは「分の歌に立ち感をいし、下目からはなる都技の後を襲っことは「分の歌に立ち感をいし、下目からあるが「年職神中である」

…結核豫防の三原則… 努めて屋外に出て、太陽の紫外線

に與へて、自衛力を強める……… ヴィタミンに富める美養物を豊富 室内の通風を良くし、嗇も夜も清 い空氣を呼吸する

を充分に浴びる

結接の病菌 が感染してから始めて治療をを管行し、病菌に對する自筋力を強めることを管行し、病菌に對する自筋力を強めることを行し、病菌に対する自筋力を強めることをできない。 呼吸器 弱人 かせを引きらい人々は、平

粒肝油ハリバは……数十百年の昔か るヴィタミンAが問席に含まれてやるからです。

統的觀念を打破した新時代品です。

超中期四十二数 **司** 打計量例十二数訂五

資生堂

(可) 特地都爾二帝

賞懸ムーリクデル党堂生 てし博を評好で地各下目がプールグたしと資舎をりかば人婦御の用愛御品権化堂生資 ?かうせで前名ふいと何は盦のそ すまね 有意義な特典が己ざいます御入舍なさいました?

す呈進に研す上質お回ームーリッグンシェバはスムーリッドルーコ常生資でにアトスンイエチ常生資 ・紙用 町・市・駅)在所のアトスンイエチ宣生資のめ水質おと前名の窓・方め認の案答 すまり測にドーカる 定規 査す必はドーカ常悪・ いき下き書おく易りかわに間定所のドーカを名労御所住の標たなあび及名店と(名首 (すで効果もてつなにり送お接道へ社本) いさ下れ入おへ「画受 拝 ドーカ 募 應」の付幅アトスンイエチ生堂

すま來出寡應御もで枚何で人一お

は等三び及等二し但 すましり送おを品質に時间 し表顔に間新刊日 旬下月一十 読 靉 すまげ上差に時同と上質おは品質等四 へ代に表意てつもを送養の品賞

様名○○○•一 様名〇二

获名○○五•一• トクセ行政を選集を • 品景等二國

・ 株皆者薬薬師 ・ - ブンヤン堂生費 ・ 品 景 等 四 圖 (衆名○○○五 ・ (なか)別白水堂生費 ・ 品 景 等 三

た新けシミ良胃

ふ新發見物を主成分と せしめる薬物を用ふる らに丈夫な身體になる より方法がない。それ 小膓絨毛を力づけ更生 ためには胃腸 には植物ホルモンとい 症狀の人が、ほんと かうした 特に

が出來ない。

もついてくる。

購入の御注意

るより

新奇遠の上窓送す。但し次系は 新奇遠の上窓送す。但し次系は 特に保守所にて音樂する故、到 特に保守振めをした。由込は左記へ 香、株込を乞よ。由込は左記へ 平息市日本街區開館町二丁目 現代は上次 本オネオギーは三百六十個人大 和一月童金一個五十銭、愛角紙 型の別あり。全個要店に在るる 型の別あり。全個要店に在るる で物ホルモン薬は本品以外にな き放代品に注意ありたし 直接申込はハガキでよろ 右へ移轉せり

薬物がよろしい。

したネオネオギーなる

を検討してみると、消ーネオネオギーの作用

人も、貧血の人も生來退の人も、神經衰弱の 結核に関む人も精力減一 場合が一ばんいけない。する。 な部分が衰退してゐる。 | 的な良い品であると信 | 一一消化管で最も大切| 體力融與劑として理想 胃腸病者は勿論の事

充分に行亘らせること てゐて、築養を體內に 虚弱といふ人も、しら 小膓の絨毛が弱り衰へべてみると、たいがい あるから反應す速く、 く吸收されるので顔の 食慾が増し三度の食事 胃腸が丈夫になる結果 血色も良くなり、體力 が待遠しくなるほど食 べたくなる。しかもよ これらの 獨特の作用を持つて

ら、滋養強壮州として 適當に配合してあるか 發揮される。その上に、 の中には、榮養素とし す。さらに此のくすり 養を促進し血肉をふや 小膓絨毛を賦活して築 化や制酸の効力が强く ノ酸も、カルシウムも て世間でやかましくい ふヴイタミンも、アミ

横溢せしむ

を賦活

4年は夏まけせぬばかり



界京・角間さん―その他 來訪者には公開す たといる感謝の一例

約

NNIUD-ZO

OBSTRUM METERS AL PER

一戦の拙劣と皇軍の猛撃に

恃む天嶮脆くも陷落

受目を見たのだ、敵の脈飾の訓

保定は『正説校の所在

つて他死上他変成(声動順方) 原用由東京にはその下放き

ヲ失ヒッルニ付!

產銀行

9年四年摩林上縣首終了了日本年代名 华景经学美国连续停止上公平自

三百(年柳不菲)は重傷を真

何の必数「百暦晋を出した、

11、取調、中である

時二十分ごろ必数の人犬を使得

ロッコへ上州の町み込み作品

らず戦略を辿り載は永定河の戦機のの陳を取るべきであったに 返して保定を中心に解答を整備し、の資子観音では、 を振じ交渉州軍所においても のと考へられてゐた、而して永定 設・攻撃に勝手思く時間に配合の 云つたのであるが、今次保定館職 が思端の知言急温に退ひまくられ一方と相吹つて我〇〇部職の神道法 永清の一線に取れて以來敵領はわ おいて無益な抵抗に多大の自民力 では戦は駆ら幕軍の兵力殺滅のた 殿でり前面は雅門、周河など西定 四に山西を継定する大行山脈の映 敗走を重ねること十二日間、いま 《天津中四日同盟】 原山、風灰、一城を僅か一日の攻の観で撤退する の消耗職を応聞しなる後年地に後 4.たその根種地と特も保定をもろり、河北省の重要都市であるほか。云けでなく精神的に顔に取って一葉走を重ねること十二日間、いましるのである、保定は人自八萬章(て切り、帰定の茂泉は前に重歩上いに知られた様果其しく順走に、風の如き琉球様りが敵耽勝の上な「校を泉が敵の第一郷散隊に暴加しか。 (2.2.) (2.3.) (2.3.) (3.3.) (4.3.) (4.3.) (5.3.) (5.3.) (6.3.) (6.3.) (7.3.) 難断に配胎してゐたと言へる、 も保定は東に西泥の大湖を空へ 大會戦を強んで来るも 原因は、既旨くを得 「河川を整へ河北市町山でも

落門 明かに既については、朝鮮

の○流河諸河が間へ起く随地軍事

線に別る果敢な語識を聞けてある

半島鋭彼の駒蔵を上版に北支が、| 北支が一線のOOB膝頭地に利潤| にかて現行され、その際上間原

一門は「この間の金は酒りに消費

瞬一時候できのよの最高

けふの天氣

製紙化學工業株式會社

時から京城ボデルで茶紙京城山口縣人質は廿五日

温度」一一一一度九

八氏に決定

ス、総付府より阿生政領部長、副

物の用テント、自

かは有一行は間間配として左の品

せ、面に派信局に献金手腕をとり一 通信電に売つべきである。と申合 すべきものにあらず異策飛行術を

少年航空兵は夢

鐵道局の給仕君轢死

思南村昭伊碧松、慶北小口集

地に続くとに決定、同時に各湾域等。盟より安倍の締がそれが、思

り敬は永定門心線に

博得を開催、定利で務予良盛合使」り軍用戦争戦的映簾の顔を開催し、定利で務予良盛合使」り軍用戦争戦的映簾の顔を開催して決議を開発した。 氏の関語の節に次き間指子側氏 の他の接切、要似長安選別問題

浮譽れ の御奉公

残された長男も軍醫中尉

男躍、晴れの日を待

「限らせず」と勝召の日を得らかね」である

いてがらべきだと

| 欧始の頭がとなった | 日午後七時後に於て愈と質節する|
| 吹、いよく・十一月一日より | 変別 | 延期中の大田府塚県幣創は三十五|
| 小中の新級離長で頭に魔怪題り遊 | 「大田園墓」 尊齢無償約百円減っ 八山湖四間里,思山湖間時四十二 悪山新線近く開温

氏導動となり避難種に生実に移 近位文明層あった後、隣督提

ての指導列名士一同の挑番あ

【大田報話】朝鮮總得府許可持し ことに内定した

九時過ぎ硫資温に敗奪した

「大乗の好所側板と修む指件の保定・部場は再発はよりの専門によれば、など政策が人供業部子事態に続変。「大乗の好所側板と修む指件の保定・部場は再発はよりの専門によれば、なかりが集って観さんへの対談技工で眺遠するなどの健康を総定し、「世界として京三首別を贈ったか、」なの報告はなが知ると、女務さん、「一世界として京三首別を贈ったか、」なの報告はなが知ると、大阪会社 | 一般の質を附け指摘してある大波|| 「暗磨する鼻女の鷹に関係がは今次排板に続してみる犬波|| 「可附前を供達式は去って十日大池 18月 同時に各連続 他が深泉、ほかに傷傷臭に對し 関代表も左の徹氏に内違したので 原四難続、その他食物に拘禁し 「行入名は来る二十八日耶良城郡」 て約:裏四の物品 總督の慰問金を そのは、欧納す 見上げた天津義勇隊

は見解のため、「のぞみ」に乗車 は見解のため、「のぞみ」に乗車 は見解のため、「のぞみ」に乗車 は見解のため、「のぞみ」に乗車

大田府の燈火管制 **懲よ今夜から實施**

食ひしん坊の敵の彈

日午後七時後に於て愈上復施する。廿二日午後十時ごろ、京城酔詞町二一人りの王何歌印を訪取せんとし

旅費稼ぎに失敗

一、徐延禄氏方に関人、理金玉上

と仲よく入蹊した。 龍石・電燈と

と多年に一帯に服してゐただけに んな非常時だ、患者には窓の

|重長少佐と夫人 (後別在)||軍人の家・(前列)||物

局長の训示、記郷日東監察財制 京供販、整頭の寮団、天皇佐子 薫成中居に式を除ら行六日任善 薫成来源なで居石城大教養山橋 電記、井原は参議・美山郷証の がおいた。

E000

カッとあぐらをかいた小

つたが、偏の方で顕微部隊長

おやない、いし眺めだ。 「卵光なんか態多に書るもの

スツ、川原長の腰の水間を

ておに支那兵の難火なんか

にそのも耐く後方解離局院にに参加、日ノ丸を地理局で別

まつたものだ

(16)

版鉱の仮をかきこみ始めた。

解明点なと洒落こんで燃ぐべ

ンついてある那様技の上女、

れは酸弾の跡だつた、過ぐ 間の幾りには微け目が二つ り必つてみた 明順通か五百米の敵陣は別さ 我市院長はさら続きながら、 叫ふの方で遊けて通るさ

全都各敗版山漁村の中間として振

るを鮮中堅声年大質は既敬の週り

| 職されることに決定した | 万名、黒南子四名、奈牝井三名、駅化・一次の市田京城に於て明 | 向日田原書は京城中三名、駅化・

名,黄柳十六名,柳阳十一名 小北二首、江州大省、城市十名、

年前より六十名田郡する晋成北十六名で、北に京城府職合政

戰死將兵

武動を物語る動意を胸に駆かし

だが影院なんからつきと看板を

應召 鼠影院に郵駒師として父

助けてみた。男矢部正志哲二 召集され、父子兵に断まし合つ

世の實家へ入轄しも補充兵とし



気は作用にカラく時がつて 意にアスッ、弱みをくつた飯 府和出る水桶の水を代からず いて例、頭は近び残しの仮 いつは勿能ない

なんだ。いやしんばの酸素

朝鮮人変原院特別所に関し過程と、さんの秘密相談會一般の数を用げ指摘してゐる人世、婚姻する處女の爲に

に実行、将来は少年航空兵にと短回少年は岩の九年四月から郷資局 の音機に遭つたものである

けるの試合 甘西日の學 阻田

0 20A 6 B

銀行團軟式野球

収み始めた

問題 080100A 8 全群中等蹴球 (第三日) 0001010

な感願を持つ的な 色調と お腸め乞ふ帽子店にて 全國百貨店



TOkuju APart

トーパア壽德 全宗 隨夜 生術 房景 (武 作 敬) 口人叮"小西

セア・インキ

外務社員招聘

番

テングストーブ のある ストーブ界の王座



特別等内

原境本町二ノハ七 電本二四三六ヶ月安削部あり

第一生命保 殿相互會社 原城府長行川町二二

電光3179

ひ乗りんとして鑑って経路に順落一歩いたが、前科的とて確ら相手に 院で、瞬けつけた少年が列車に限 形特所を出所後方々に敷を求めて れた、同心年は今月初旬に川心起

部は城庁列車が他山畔と部市の無い、日午後二時五十五分ごろ仁川

州関金暦 Wet 国工館 山東南部 関東

してくれるものがないので繊維に

言にまた卵の途に貼った

質業庭球戰

告に限り時に详明にて掲載す 発滑料金さ時前の事事が最重 現五十の暦名は一周毎に五十 正観所で十五字語一回五程』 お茶は本町五清元園 ンワ 李 犬 ツニュート主教四ヶ ラノ脚木し 日本色音風帯以前大

岩石落下

ドンバムコ

人夫死傷

干拓工事の修